



主な受講対象種別(高齢者)

対人サービスの質を高める～「即実行する“専門研修”」

参加対象レベル ★☆☆(新任)～★★★(指導的)

事例演習で体得!! 利用者も家族も満足できる、“目からウロコ”の介護記録の書き方

# 介護記録演習研修会

日時：7月15日(木曜日) 10時～15時30分

場所：長崎県歯科医師会館 5階 講堂

(長崎市茂里町3-19 TEL:095-848-5311)

## 研修会のねらい

### 「法令遵守」「危険回避」につながる記録の留意点・改善点分かる!

介護記録は、利用者やスタッフ間とのコミュニケーションとしてのツールだけでなく、訴訟の証拠にもなる重要なものとなっています。しかし、実際の現場では、「記録に時間がかかりすぎる」「忙しくて記録を書く時間がない」「記録の種類が多すぎる」といった多くの課題があるのが現状です。

本セミナーでは、【具体的な事例演習】を通して、様々な場面での記録の留意点・改善点を学び、実地指導・監査・介護サービス情報公表に対応するとともに、利用者やその家族にも満足して頂ける記録の書き方のコツ、ポイントを習得します。

## 講師

### 伊藤 亜記(いとう あき)氏

株式会社ねこの手 代表取締役/介護コンサルタント

講師が変更になりました

介護福祉士、社会福祉主事、レクリエーションインストラクター、学習療法士1級  
老人保健施設やケアハウスなどで介護相談員および施設長代行を務めた後、「株式会社ねこの手」を設立。長年の介護経験を生かし介護コンサルタントとして活動する傍ら、介護記録の研修講師として全国を駆け巡っている。主な著書に『添削式介護記録の書き方』(ひかりのくに)がある。



## 受講対象・定員

老人福祉施設・事業所、介護保険施設・事業所に勤務する介護職員等。その他受講を希望する方。  
100名(申込み先着順)

## プログラム(予定) 《 受付9時30分～10時 昼食休憩12時～13時 》

### 1. 介護記録の目的・意義・重要性和

#### 書き方の技術

- 1)「目的」…それを理解しているか否かによる差
- 2)「介護記録の要素とルール」…何をどう書くべきか?
- 3)「連携・情報共有」…介護業務のボタン
- 4)「気づき」…ムダ、不要、不適切な記録
- 5)「特変なし」は本当か?

### 3. 「危険回避(リスクヘッジ)」を実践する

#### ～施設・事業所・利用者・自分を守る介護記録

- 1)「記録の訂正」…あらぬ疑いを持たれないために
- 2)「記録の漏れ」…ケアの質低下・クレーム・裁判敗訴の要因
- 3)「表現の工夫」…開示できない記録とは
- 4)「事故防止」…事故につながる記録とは
- 5)「ケアの振り返り」…自身の態度・言動の記録

### 2. 「法令遵守(コンプライアンス)」を実践する

- 1)「介護の証と根拠」…正確性・客観性・具体性
- 2)「ケアプランとの連動性」…費用算定の根拠
- 3)「個別性」…ニーズに沿った個別ケアの実践
- 4)「ケアの適切性」…ケアの継続性や統一性の確保
- 5)「利用者の権利」…意向・同意・開示

### 4. 事例を通して記録を考える【演習】

### 5. 介護記録の指導と業務改善

- 1) 記録の管理と指導ポイント
- 2) 記録の効率化・スリム化
- 3) 記録によるケアの検証と品質保持